

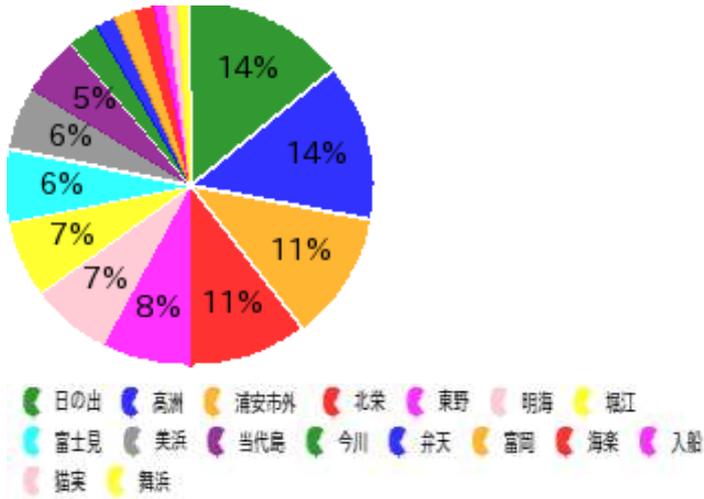


## 0311 そのときあなたは？

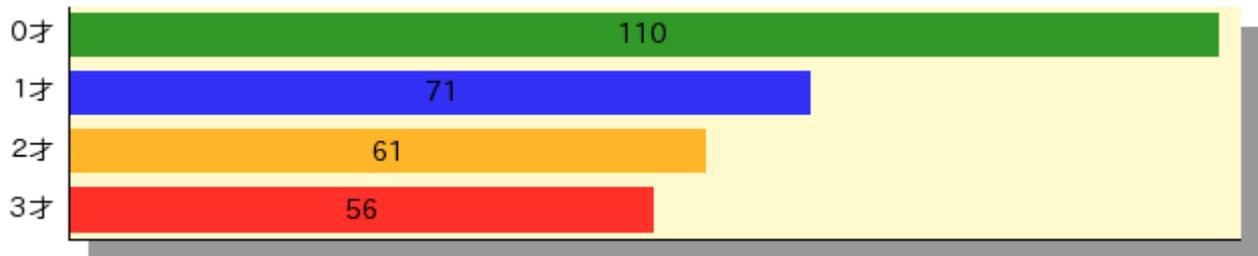
### 子育て世代の声

- 実施時期： 平成 23 年 6 月～9 月
- 実施場所： 実行委員会各団体・浦安市子育て支援センター・  
地域子育て支援センター（入船北・高洲）・子育て応援メッセ会場  
ホームページ
- 対 象： 震災時に妊娠中か 0～3 歳児を子育て中の浦安在住の保護者
- 有効回答： 266 回答
- 主 催： 子育て応援メッセ実行委員会  
(以下実行委員参加メンバー)
  - 浦安市こども部こども家庭課
  - 浦安子ども劇場
  - 浦安おはなしの会
  - 浦安プレーパークの会
  - 家族・子育て相談室ゆずり葉
  - 特定非営利活動法人発達わんぱく会
  - 特定非営利活動法人タオ
  - 中核地域生活支援センター がじゅまる
  - 明海つどいの広場子育てテラスふらっと (NPO 法人 i-net)
  - MY 浦安 (NPO 法人 i-net)
  - EXTRAL SHINE
  - 全国友の会 浦安方面
  - Hand to Heart
  - 山田 順子
  - 財団法人浦安市施設利用振興公社

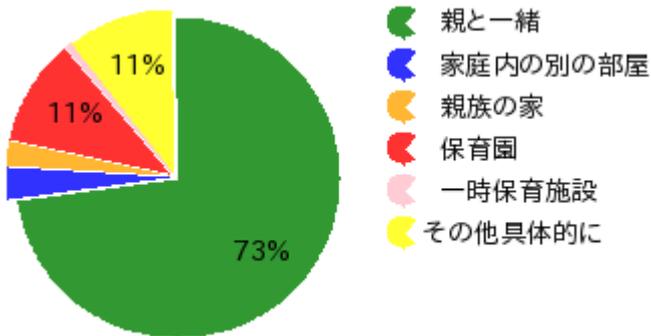
1. お住まいの地区を選択してください（昇降順）



2. お子さんの年齢（0才から3才児のみ対象・複数回答）



3. そのとき、お子さんはどこにいた？（%）



（その他具体的に）  
 妊娠中(14),産院, (2)  
 近所の家で早いオヤツを食べていた,市主催  
 絵本の読み聞かせの集会中  
 総合体育館で一緒  
 子育て支援センター,友人の家 (2)  
 里帰り中

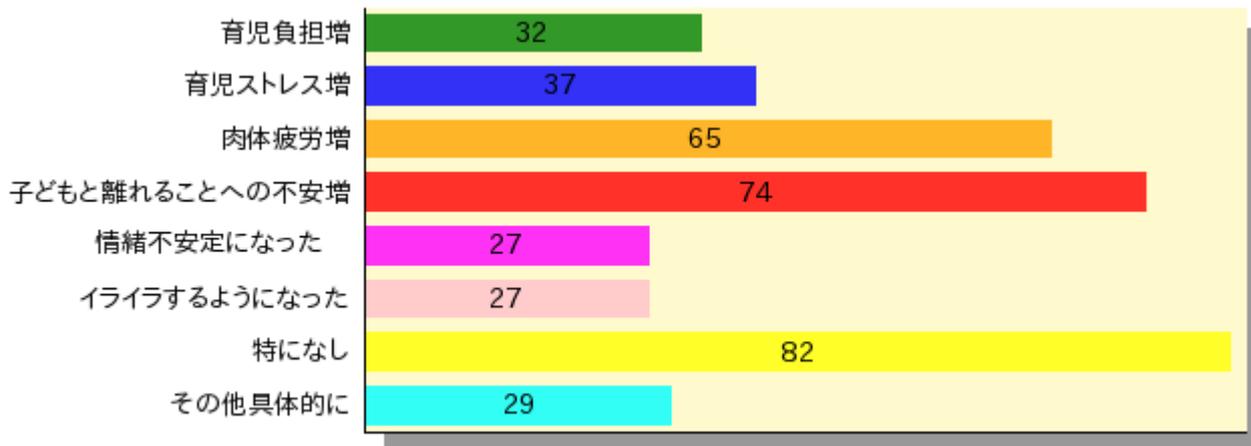
4. 震災での子どもへの影響（複数回答可） 全体の40%の子どもが何らかの影響を受けている



(その他具体的に)

- 電気のカサや紐の揺れを気にするようになった。
- 地震、地震としょっちゅう言う
- なんでも地震に結びつけて考えるようになった
- 大きな余震は泣いたこともあった。少しの間、指に力を入れていた
- TVの地震速報がなると母にしがみつく
- 夜泣き (2)
- ねむりのリズムが崩れ、夜泣きをするようになった
- 親の不安を察してか食欲がなかったりグズった。
- 発熱あり、テレビを怖がる
- 緊急地震速報に異常に怖がっていた
- 母乳を飲まなくなった。地震以降粉ミルク
- 上の子を迎えに行くため直後に人の家に預けていたら大泣き、その日から人見知りが始まる
- 地震という言葉に過敏になった
- テレビなどの報道に敏感になった
- 食欲不振
- お腹がきゅーっとなった
- 地震のテレビの警報をこわがる
- 2回トイレに行く
- 緊急地震速報の音に怯える
- よく泣いていた
- 寝ていた

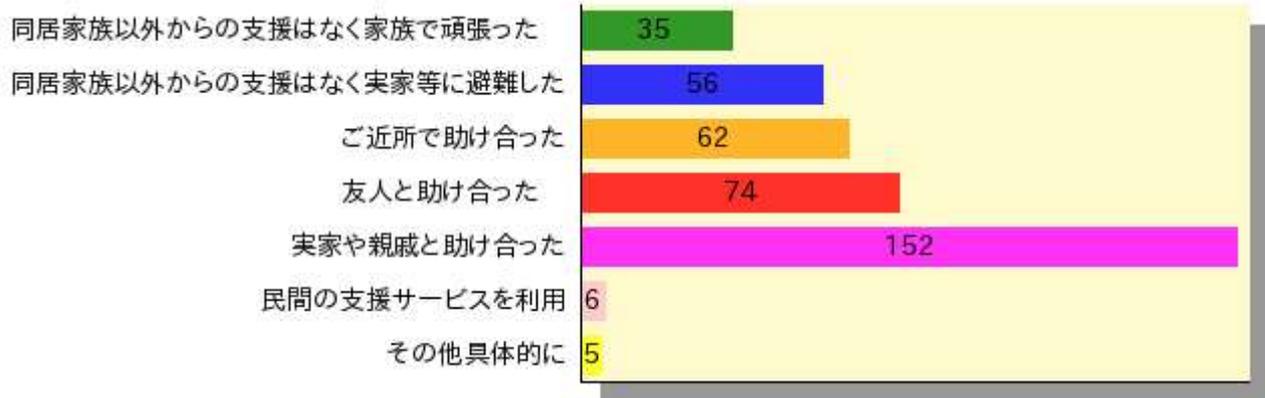
5. 震災での母親への影響（複数回答可） 全体の70%の母親が何らかの影響を受けている



(その他具体的に)

- 船酔いが続く感じ。夜ゆっくり眠れない。
- 放射能の問題が不安
- 不安が大きく、情報集めに夢中になってしまった
- ストレスで低体温になり困っている
- 水や品不足、放射能等子供への影響が心配で仕方なかった
- 病院が閉鎖されているところ多く、不安 (子どもの体調が悪くなってしまったので)
- 原発事故の不安
- 地震の揺れが怖い
- 震災後は上の子(4才)のほうが不安定になり、そ
- ちらに手がかかった
- 浦安に住んでいる事自体不安
- 母乳の量が減った
- 風邪が治らなかった
- 放射能に対する不安 (2)
- 旦那の家でお世話になりストレス
- 切迫早産になった
- 地震への不安
- 原発による飲食物への不安
- 安静中
- 仕事を休みにくく困った

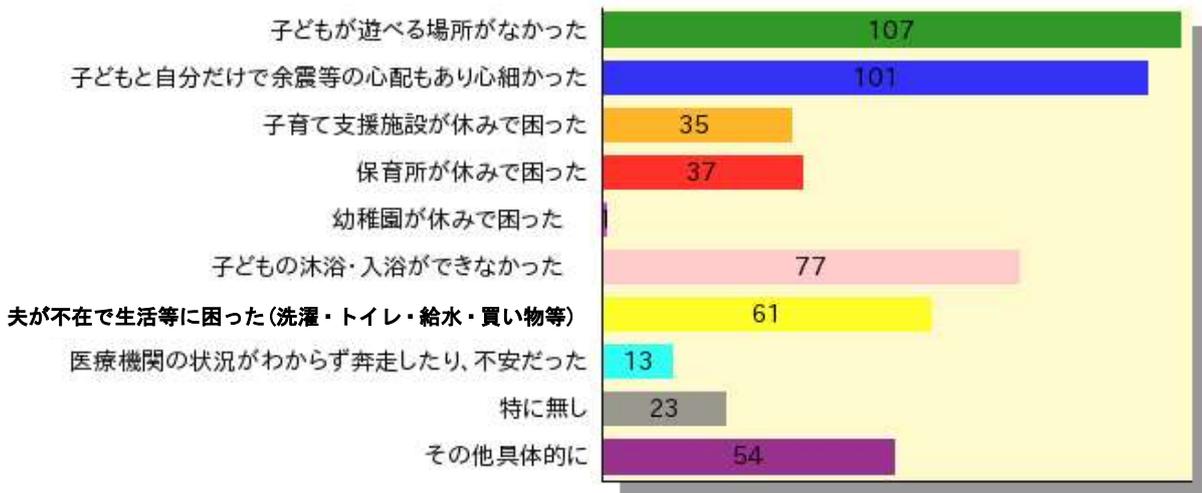
## 6. 震災後の助け合いの状況（複数回答可）



（その他具体的に）

- お風呂
- しばらくして実家に避難
- お風呂を貸した
- 実家に帰った

## 7. そのとき・その後（3月末迄）どんなことに困りましたか？（複数回答可）



（その他具体的に）

- 計画停電によりお店や病院が休業、マンションの給水ストップ、暖房器具が使えないなど
- 子供がトイレトレーニング中で洗濯ができなくて困った。
- 交通手段（液状化で道がガタガタで自転車、ベビーカーなど使いにくく、車がないと移動が大変だった。）現在も自転車は怖いです
- 妊娠中
- 県外にまだいたので、浦安の状況があまり分からなく、不安があった
- 自宅の水が出なくて、親戚の家に行ったので早く帰りたいかった
- ライフラインが止まり家が傾き健康不良、頭痛
- 断水
- 仮設トイレに子供を（乳児）を連れて行けなかった
- お風呂に入れず子供の肌荒れがひどくなった
- 上下水道の復旧が遅く困った（トイレ、子どもの入浴に洗濯）
- 実家へ避難したため生活は困らないが、浦安へ戻って来た時の不安は大きかった
- 子どもを連れて非常階段を上り下りすること
- 妊娠中（悪阻できつかった）なので、主人が数日不在の時もあり、買い出し・給水等不便だった
- 停電が理解できない子どもがいて、暗闇を過ごすのは不安だった。
- 砂埃
- 子どもが余震に敏感なので、心理的フォロー（気遣い）がたいへんだった
- とにかくライフライン（水）が使えず、トイレ・手洗・風呂に困った。外は液状化の粉塵が舞い上がってるし、今思えばすごく汚れてた。家が傾き屋内にいるほうが体調を崩した。
- 食料など品薄で子供連れて買い物や、なかなか手に入らず困った。
- 断水、放射能の影響で、震災当時、一歳を少し過ぎただけで、市からの支給はもらえず、まだミルクを飲むのに水の入手が困難で困った

- 原発の情報不足
- 段差でベビーかが押しづらい
- 放射能で気持ち的に外出しづらかった
- 必要な情報が得られず困った (13)
- 水やモノがなかった。
- 実家に避難した際、保育先に困った

8. 今後の災害時に備えて行政に対応してもらいたい支援・体制はどんなこと？ (複数回答可)



(その他具体的に)

- おむつ、おしり拭き、ベビーフード等、水以外にも乳児用の衛生用品の確保や配給
- コインランドリー等の洗濯できる環境
- 子どもやお年寄りのいる家庭への給水、トイレなどの配慮
- 水、紙おむつの支給
- セーフゾーンの設置など
- 津波が来たときの避難所
- ネット以外にも情報回覧板や掲示板など紙面で見える情報がほしい
- 避難場所の確保、ライフライン停止時の早急な対応
- 子供がパニックを起こしてもいいように隔離スペースが欲しい。見た目では障害とわからないので
- 病院の確保
- 非常事態に対応するスピード、想定外をできるだけなくす備え
- 震災シミュレーション (地域で集合、炊き出しなど)

## 9. その他、震災にまつわるエピソードや感じたこと・ご意見など（自由回答 500 文字以内）

### (ア) 避難所について

- ① 避難所で誰からも指示なく、子どもをつれて不安でした。行政の早い対応ください。
- ② 地震のとき、子育て支援センターにいました。職員の方が迅速に誘導して下さったので、慌てず避難することが出来ました。
- ③ 当日近所の避難場所に指定されていたトリム公園や球技場に向かおうとしましたが公園は液状化で入れず、球技場は鍵がかかっていました。結局近所の人達と一つの部屋に集まって過ごし、徒歩で都内から帰宅する主人達を待ち続けました。子供は状況がわからずにグスリ、可哀想だし、余震は怖いしで心細い夜でした。あと、もし津波がきたら浦安はどこに逃げればいいのか未だに分かりません。行政がきちんと地区ごとに指定して欲しいです。
- ④ 震災直後、少し余震が落ち着いた間に、予め用意していた防災グッズを持って、地域の避難場所である中学校へ避難しました。が、避難されている人の数が少ないことに驚きました。学校に来れば安心、というわけではありませんし、日中でしたので外出中の方も多かったかとは思いますが、地域の人みんながもつと危機感を持つべきじゃないかな、と感じました。地域の方とお知り合いになるためにも、地域で地震シミュレーション(学校に集合したときの段取りや、炊き出し方法についてなど)をするのも良いと思います。
- ⑤ 1歳3歳の子供と避難するのが大変そうで不安になった。避難する場所に行ったほうがよいのか迷ってしまった

### (イ) 買い物・オムツ等について

- ① 我が家ではたまたまストックがあったほか、関西の実家に避難したので何とかりましたが、震災後、おむつやおしり拭きが買えなくなったのは不安でした。実家に行く前は逆に、必要としている人がいればストックや、上の子の時の残りのおむつを差し上げたいと思いましたが、手段がありませんでした。市で普段から確保するだけでなく、乳児用品に限った献品を受け付け、配布すると良いかもしれません。
- ② おむつ、飲料水のストックがちょうどきれている時に震災にあったので、とても焦りました。地震後すぐに子どもを抱え、液状化していく道の中を歩いて買い物に行きましたがお店もパニックで買えず、次の日飲料、食料を求める人であふれるなか買い物に行きました。
- ③ 大人は自分達でどうにかしのげるけど、乳幼児等の子どもへの備えが特に大切だと感じた
- ④ スーパーから米や水がなくなり不安だった
- ⑤ 子どもが当時1歳2カ月で、まだミルクを飲む時期だったが、上の子もいて車にも乗れず、水の入手に苦労した
- ⑥ 震災に対して今まで何も準備をしていなかったのですが、これを機に非常用を準備し特にニュースを見て子どもの食べ物やおむつなど子供向けの援助も少ない事を知って、自宅でもストックするようにしました

### (ウ) 液状化について

- ① 埋め立て地の怖さを初めて知りました。
- ② 震災時は中央図書館にいました。高洲へ帰ろうとしましたが、液状化で車が進まず不安でした。その後、断水で1週間以上お風呂が使えず、市内の元町の親戚の家に通っていました。液状化の恐ろしさを体感し、今後また地震が来たときの備えをしっかりしておこうと改めて感じた
- ③ 今川に在中、今でも道は砂利、砂埃が舞い、洗濯も干せない。優先順位を考えてほしい
- ④ 砂埃がすごく赤ちゃんをつれて買い物へ行くことが困難だった。(マスクをしてもすぐに外してしまう。)6才の姉も外で遊ばせたり友達と遊ばずにストレスたまった。
- ⑤ 砂埃がすごいので、しばらく外出は控えていましたが、未だに風が強い日は砂が舞うので、早急にセメントで固めるなど対応して欲しい
- ⑥ 液状化の砂埃でしばらく鼻水がでた
- ⑦ 外出していたが、液状化していて自転車がドロにしみ、身動きがとれなくなり大変だった。通りがかりの人が助けてくれた

### (エ) 断水について

- ① ホテルがお風呂を貸してくれたのは助かったが、子連れだと制限時間内に入るのが厳しかった。(子どもの服を脱がせている間にシャワーが全部うまり、順番待ちをしている間に時間がきてしまった)
- ② 上下水道が使えなくて子どもがいると仮設トイレもなかなか行けなくて困った。
- ③ 下水道が使用できず、日中トイレ等行くのに困った。子どもと一緒にいけないので大変だった。
- ④ 子連れで給水所に行き、大変でしたが4歳の子は覚えていてほしいと思っています。水の大切さ、当たり前と思っていたものがないことの不便さを知りました。水不足で困りました
- ⑤ 今回の震災では断水に困りました。3/12 まだ混乱の中、液状化の砂埃がすごく給水車待ちの行列に1歳児を連れて並ぶのは大変でした。子ども達に負担がかかると思ったので、3/13には浦安を離れ実家へ避

難しました。もし、避難できない状況だとしたら、やはりご近所、友人など身近な人々との助け合いは必要だと思います。浦安は出入りが激しい地域なのに、個人情報の問題で賃貸は名簿がなく、自治会でも生活弱者を把握できないと聞いたので、URなども協力して、まずは声をかけるべき方々の所在を明らかにして欲しいと思います。

- ⑥ 我が家は生後2週間の子と2歳になる子と3人である時に震災にあって、しばらく家から出られず不安な毎日でした。不通にスーパーでお水が買えるようになるまでもかなり時間がかかったので、不便な思いをしました。
- ⑦ 断水となり、子どもはまだ赤ちゃんなので1日お風呂に入れただけでおしりが赤くただれ困った。ミルクの水の入手が困難。給水車が来ても下水が使えなかったので、哺乳瓶が洗えなく困った。
- ⑧ 0歳の赤ちゃんはずっと抱っこでした。お風呂に入れられないことが一番困り、赤ちゃんの肌があれ、湿疹ができ、痛々しい様子でした。かわいそうになりました。その後、実家へ3週間避難してゆっくり過ごしました。
- ⑨ 水が出なくて本当に、本当に困った。飲み水を近所の赤ちゃんのいるお家に配ったりしてお互い助け合ったが、もっと大きな震災になれば助け合う余裕もなくなりそうで怖い
- ⑩ 小さな子どもと一緒に家族の助けがないとき（仕事に言っている間）は、仮設トイレにもいけず、コインランドリーにもいけず、給水もままならず、本当に大変でした。子どもは遊びが足りなくて体力がありあまって騒ぐし、わたしはヘトヘトでした。ちょっと子どもがいる人同士があつまって助け合える場所があれば良かったです。また仕事は休みではないのに、保育所は休みで、とても困りました。
- ⑪ とにかく上下水道が使えないことが不便だった。赤ちゃんがいると仮設トイレにもなかなか行けません。しばらくの間、子どもを連れて外に出られませんでした（出るのが怖い）
- ⑫ 子供がいる為、思い立ってもすぐに動けず慌てて水を確保しようとしたが、その時すでにどこも品切れ状態ですごく困った。いつになったら水が出るのかわからず、不安が大きくなった。
- ⑬ 飲料水を売ってもらえなかったので、遠方の友人から送ってもらったりして助けられました
- ⑭ 近所や親戚がかわるがわる自宅に洗濯やシャワーに来ていましたが、計画停電のときはスケジュールを組むのが大変だった。
- ⑮ 上下水道が使えず大変な思いをした。電機や水の大切さを思い知った。
- ⑯ 電気・ガスはつながっていたが、断水になり不便だった。しかも火災の危険があるため、ガスも使用禁止となり、食事が用意できなくて苦労した。幸い 土日は主人が在宅だったため 給水や買出しに行ってもらえたが、我が家のように幼児（0歳と2歳）がいる家庭は 身動きがとれず大変だったと思う。その後、実家のある西日本に避難したが 向こうは震災の影響がほとんどなく、大量に物資があって本当に安心した。
- ⑰ 子どもと授乳中の妻の飲料水に本当に困りました。今後も不安です
- ⑱ 断水で済み、そのほかあまり混乱がなかった

#### (オ) 余震について

- ① 3歳の息子は初めての経験で、説くに怖がる様子もなく「地震きたあ」と笑っていました。その後余震が続くたびにだんだんびっくりと怯えるようになり、ちょっとした余震にもすぐに反応するようになりました。とても怖い思いをさせたとします。
- ② 6才、4才、0才の子どもがいます。6才の子が余震に怯えて家から出られなくなり、買い物も行けませんでした。最近もまだ余震が続いているので、大きな地震がまた来た時になどに家具などが倒れてこないか心配
- ③ 震災時はそれほど怖がらなかったが、余震は少し怖がった。

#### (カ) 放射能について

- ① 水や野菜、食べ物が気になる
- ② 放射能の影響はないのか浦安の情報を流して欲しい。
- ③ 現在の放射能数値が心配、安心して遊べるよう定期的な観測発表を望みます
- ④ これから子供が外で遊べるようになるか、雨、土等、放射能がどのくらい影響が出るのか不安です
- ⑤ 震災自体よりもその後が本当に大変でした。（です）子供の食事や砂場や水遊び等、原発の影響を考えるととても不安でしばらく安心できません
- ⑥ 放射能の子どもへの影響が心配です。
- ⑦ 震災とは別件になってしまうかもしれませんが、もっと情報提供をしていただけたらと思います。幼稚園など子供が生活する場の、正確な放射能の測定をお願いします。200キロ離れているとはいえ、柏や豊洲などでは高濃度の放射線量が検出されているのでとても不安です
- ⑧ 今、原発への不安がやみません。子供たちの未来のために、少しでも被爆を減らしてあげたいので色々気をつけて出来ることはしています。浦安で測定されてる数値はかなり高いと感じ地震後外遊びはほとんどさせていません。後悔したくないからです。公園の除染などして、安心して遊ばせてあげる環境づくり

を切に願います。

- ⑨ 放射能の情報をもっと欲しい。空気・水・食品全てに心配が尽きない
- ⑩ 砂場が大丈夫か不安です

#### (キ) 母親のストレスについて

- ① 私が不安で余震がくるとバタバタするので、それが子供を不安にさせていたと思います。直後は少し不安定でしたが思ったよりもすぐに普通に帰っていて安心しました。
- ② 親戚、友人がほとんど東北だったこともあり、連絡に奔走してしまい子供のケアが後回しになってしまった。原発の事故も不安で緊急地震速報も必要なので、テレビもつけっぱなしになってしまった。
- ③ 小児科が計画停電のため先着何名かしか診てもらえず、とても不安だった。地震はしかたないけど、原発のことが心配でストレスになっている
- ④ 子供や夫より私が一番おびえてしまった。阪神大震災も経験し、思い出してしまったからだと思うのですが、親としてしっかりしなければと思いました
- ⑤ 震災直後から実家に避難し余震ともかけ離れていたため、四月に戻ってきたら現実を目の当たりにし私も子供（特に4才の娘）は衝撃を受け、二人ともストレスを感じていた。一歳の息子は変化は無かったが、娘は熱を出し食欲もなくなり大変心配だった。幼稚園が始まってようやく娘も元気になった。
- ⑥ 小さい子供がどうしても遊べる場所や外出するところがなく、家の中だけでストレスがたまってきたみたいです。またお友達も実家に帰っていなかったため、私もお話しする人がいなく気分転換ができず精神的に辛かったです。
- ⑦ 当日の14:45の予約で小児科に向かっていました。車内で被災。それからその小児科に行くのが怖くなりました。車でその小児科へ向かうとまた地震が起きそうな気がして。
- ⑧ 震災の朝に出産したので体力的にも、精神的にも疲れしました

#### (ク) 情報について

- ① 震災後、一日に市役所からの放送が何度もありましたが、ハウリングや家の前の店舗の音で殆ど聞き取れませんでした。市のメールサービスに登録したところ、即時内容が配信されるようになって助かりました。
- ② 市からの防災メールはすごく便利で助かりました！情報は重要です。
- ③ 放送が聞きにくいです
- ④ 私の住んでいる自治会は、積極的に災害に向き合い、翌日には防火用水を配布（しかし日ごろ使っていないからかモーターが時々止まった） 仮設トイレの設置・集会所掲示板で給水情報・銭湯やコインランドリー情報などこまめに活動していた。その後ブログを立ち上げ、情報やアドバイスを流してくれた。知恵のある方が多いのだろう、専門的なこともわかりやすくブログに書いてくださって、助かった。すばらしいご近所さんだと、誇らしいし、自分がそんな町の住人だということも嬉しい。
- ⑤ 市役所の災害情報も役立った。ネットがつながっていて、本当によかった。防災浦安の町内放送が、聞きづらかった。（メールが届いていたので不安は無かったが）
- ⑥ 随時、放送やネットで計画停電や給水場所がわかり安心した。
- ⑦ 親は子供が一番心配なので、こどものいる人向けのメーリングがあるといいなと思います。
- ⑧ 電話やメールが不通で情報が得られなかった。上の子を保育園に預けている時に揺れ、なかなか迎えに行かれなかったが、先生にしっかり保護して頂いていたので、とても安心できました。
- ⑨ 地震後とても動揺してどう動いていいかわかりませんでした。危機感をもたなければという今こそ避難訓練、避難時に必要なものや行動など具体的に策を知りたいです。次の災害時にしっかり備えて欲しいです！
- ⑩ 浦安市の津波対策はどうなっているのでしょうか
- ⑪ 情報が色々で迷ったり、家族と連絡がとれず困った
- ⑫ 震災放送などで市内の情報が欲しいと思った
- ⑬ 市内のアナウンスが聞こえにくく不安だった

#### (ケ) その他（困ったことなど）

- ① 1か月早く産まれた
- ② 液状化で美浜の産院が被災。急に産院を変えることになり、大変でした。
- ③ 保育園が休みになったのには参りました。仕事は休めないの。肝心のファミサポも事務所は閉まっているし役に立たず。緊急サポートは高いし。結局、都内のビジネスホテルにしばらく居を移して職場近くの保育園に通わせました。浦安はいざというときのサポートがぜんぜんあてになりませんね。（何週間も連絡がとれなくなるファミサポは本当のがっかりしました）いまは浦安からのひっこしを考えています。
- ④ 妊娠中で外出中でしたので帰宅難民になってしまいました。もし赤ちゃんと一緒にいたらどうすればよか

- ったのかとても不安に感じます。またミネラルウォーターも品切れでとても不安でした
- ⑤ その時、幼稚園そばの公園で園児と弟と遊んでいた。揺れが治まり、気づくと地割れ・液状化・お台場あたりの火災の煙・ガス臭と非常に怖かった。隣接する小学校に避難した。幸い主人が出先よりすぐに戻れて、他の兄弟を泥があふれる中、迎えに行ってくれた。行き先を把握していたので通信手段が途絶えてもそういった面では不安ではなかった。その後、水が約1ヶ月にわたり出なく、末子は嘔吐下痢になり、衛生面・精神面で辛かった。上の子達も液状化の泥さらいを手伝ってくれてはいたが、ストレスがたまっていたようだ。テレビが震災のことばかりで、子供向けのTVなど1局でもしてくれれば、気休めになったのかも。
  - ⑥ おなじ校区内でも富士見は、比較的ダメージが無く、おかげでお風呂や洗濯をさせてもらえたのだが、なんだかおいてけぼりを食らっているような寂しい気もした。子供の友達も平気で公園で遊んでいて、自分の住んでいるところでは長靴なしでは外出できないのに、何たる違い！！と驚いた。
  - ⑦ 家庭で予防できる事はすべてしていますが、周囲は時間が経過したからか、意識が風化しつつあります
  - ⑧ 子どもと二人で車で外出。家に帰れなくなり、近くのビルで待機している際に同じように待機していた人や、ビルで働いている方々が子ども連れの私たちに飲み物や食べ物を下さったりしたのが嬉しかった。一番心配だったのはオムツの替えの持ち合わせが少なかったこと。どこのコンビニでも売っているかと思いましたが。
  - ⑨ 震災時、主人と一歳の息子と車で一時間ぐらいかかるところに遊びに行っていて、そこで被災し、帰宅難民になりました。車はすべて止まってしまいました。大人二人なら駅構内でもなんとかできるが、一歳児には過酷すぎるのでホテルを探すことに。ただ行動を起こすのが遅かったのか、6件ちかく回っても、どれも満室。主人とはお互いイライラして険悪な雰囲気・・・。なんとか宴会場を解放してくれていたホテルが一箇所あったのでそこで一晩を過ごしました。でも寝られるような感じではなく、息子も何度も起きてしまいグズルばかり・・・。次の日は混む前にと出発前ぐらから駅に行き、なんとか遠回りしながらも、帰って来ました。かなりの時間、歩きつづけ、親はへとへと。息子もあまり寝られず、その日は機嫌が悪かったです。
  - ⑩ 保育園が閉鎖して困りました！2週間も！にもかかわらず、遊びに連れていくところがなく、子どもも親もストレスたまりまくりでした！
  - ⑪ いまだに復興していないのはおかしいと思う。早く道路を直してほしい。
  - ⑫ 離乳食を創る時に水道水が使えないのが不便に感じている
  - ⑬ 公園に行っても遊んでいる子がなくてさみしい
  - ⑭ 交通公園が早く始まって欲しい
  - ⑮ 都内の職場では浦安の状況への疑問は浅かったように感じた。保育園が休みで本当に困った
  - ⑯ 全てで対応が遅い。今時分電柱なおしている
  - ⑰ 帰宅難民だったのが一番困りました
  - ⑱ 子どもを預けていて職場等で被災した場合子どもはどうなるか心配。子どもと2人の時に大きな地震が起きたら不安。3.11は実家にちょうど里帰りしてよかった。もし体験していたら精神面が不安だった。
  - ⑲ 保育園のトイレがすべて和式だったため、和式トイレにおしりをつけないと用を足せない子がおり、大変困った。
  - ⑳ 実家が仙台で深夜まで家族と連絡がつかなくて心配だった

## (コ) その他（嬉しかったことなど）

- ① 地震が起きた時、ちょうど授乳中でした。揺れる中心細く思いながら子を抱っこしていたら、娘が「ぶぶぶーっ！」とウンチをして、急にほっとして笑えました。娘に助けられました。
- ② 震災で日の出地区に津波注意報がでたので、0歳児とその親5組が我が家に避難。一人でいるよりも心強くて安心できた
- ③ 何はともあれ、家族全員が無事でいたことのありがたみを実感した。(ありきたりですが) まだまだ家の周りは傾いていたり、道路がぼこぼこだったりしますが、それでも、震災を経験したからこそ、この場所が好きだなあと思う。元に戻るには時間がかかると思う。でも人の絆は強くなるかな。とも思います。長文・乱筆ですが、自由に回答しました。
- ④ 震災を通じてまず思ったのは近所とのつながりの大切さでした。お水が出なくて困った時にそれぞれのお家同士で助け合ったり、支えあうことができたので、不安が少しでも解消されました。
- ⑤ あまり接点のなかった隣近所の方々と協力し合えたのはよかったと思う。やはり、水が流せなかったのが、しんどかった。余震も怖かった。当時つわりがひどく、主人がいなければ怯える子供を抱っこして階段(マンションの6階に住んでいます)を使って避難する事が難しかったと思います。幸い、近くに住む友人やご近所さんがその後の給水や買い出しも我が家の分まで手伝って下さり、とても助かりましたし、本当に感謝しました。また、日頃から友人やご近所さんとコミュニケーションを密にとっていく事の大切さを改めて感じました。
- ⑥ 2ヵ月後、浦安に戻って 仲良しのお友達に会えたときは 本当に嬉しかった。今も歩道は段差だらけだし、液状化被害は大きいけれど、TDRも再開したニュースは子どもも私もうれしい！すぐに元気な浦安

に戻れると思う。でも、いまだに余震があり 子どもたちが敏感に反応しおびえているので、カウンセリングのようなものを受ける機会を設けてもらいたい。

- ⑦ 結局、京都の親せき宅に避難し、震災を忘れて遊べてよかった
- ⑧ 浦安市の対応に特に不満はありませんでした。
- ⑨ 主人が自営なので、家にいてくれて、怖かったけど安心できた。
- ⑩ ご近所が頼りになりました
- ⑪ 人と人とのつながり
- ⑫ ご近所同士のつながりが大切だと思いました。
- ⑬ 家族の助け合いに感謝しどうしだった
- ⑭ いざというときはお互いに知らない同士でも助け合えばいいと思った
- ⑮ 余震で公園に避難した際、声を掛け合った
- ⑯ 震災時は県外にいたので、これから考えたいです。対処法など。
- ⑰ 家族とのきずなが深まった
- ⑱ マンション内でのボランティア時、近所の方の大切さがすごく感じました
- ⑲ 子どもが生まれたばかりだったので、水を運んでもらうなど、近所の人に助けられ、普段からのネットワーク作りが必要と感じました
- ⑳ 地震の際、居た場所がよかったので、あの揺れに対しては子どもは怖がることはなかったもので、良かったです。
- 21 実家に避難し生活面で不自由はなかったが、荷物を取りに帰宅した際に、子ども達がとても落ち着いた様子で、自宅が一番なんだと感じた

何に困った？どんな支援が必要？ 0才～3才児保護者の声を浦安市に届けよう！

### 3. 1 1 そのときあなたは？

3月11日に発生した東日本大震災から数ヶ月が経過し、初めての経験で子育て中の皆さんも不安の中でも多くの経験をされたことと思います。

震災後、国や地方自治体では、高齢者や障がい者などの生活弱者がどんなこと困り、どんな支援を求めているのかを調査し、今後の政策に活かそうとする動きがあります。

しかし、私たち子育て世代については、困ったという声を上げることに遠慮があること、声を届ける場があまりないことなどから、行政に届きにくいこともあり、今後の支援策が検討されない可能性が出てきています。

そこで、私たちは浦安で子育て中のみなさんの声を集め、浦安市に子育て世代の現状を届け、今後の防災計画や子育て支援につなげてもらえるように提案したいと考えています。つきましては以下のアンケートにご協力を頂きたくよろしくお願い致します。



- ◆ 以下フォームの該当項目に○をつけてください。
- ◆ アンケートの回答は施設に備え付けの回収箱に投函下さい。(7月20日㊞)
- ◆ 主催・問合せ：子育て応援メッセ実行委員会 Tel.047-350-8615

----- キリトリ -----

### 3. 1 1 そのときあなたは？

お住まいの地区	<input type="checkbox"/> 日の出 <input type="checkbox"/> 明海 <input type="checkbox"/> 高洲 <input type="checkbox"/> 美浜 <input type="checkbox"/> 入船 <input type="checkbox"/> 今川 <input type="checkbox"/> 東野 <input type="checkbox"/> 富岡 <input type="checkbox"/> 海楽 <input type="checkbox"/> 弁天 <input type="checkbox"/> 舞浜 <input type="checkbox"/> 北栄 <input type="checkbox"/> 猫実 <input type="checkbox"/> 堀江 <input type="checkbox"/> 当代島 <input type="checkbox"/> 富士見 <input type="checkbox"/> 千鳥 <input type="checkbox"/> 鉄鋼団地 <input type="checkbox"/> 港 <input type="checkbox"/> 浦安市外
お子さんの年令 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 0才 <input type="checkbox"/> 1才 <input type="checkbox"/> 2才 <input type="checkbox"/> 3才 <input type="checkbox"/> 妊娠中
そのとき、こどもは？	<input type="checkbox"/> 親と一緒に <input type="checkbox"/> 家庭内の別の部屋 <input type="checkbox"/> 親族の家 <input type="checkbox"/> 保育園 <input type="checkbox"/> 一時保育施設 <input type="checkbox"/> その他：具体的に
震災での子どもへの影響 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 余震に怯える <input type="checkbox"/> ひとりであることを怖がる <input type="checkbox"/> 発達が後退 <input type="checkbox"/> 情緒不安定 <input type="checkbox"/> 保育園に行くのを嫌がる <input type="checkbox"/> イライラしている <input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> その他具体的に：
震災での母親への影響 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 育児負担増 <input type="checkbox"/> 育児ストレス増 <input type="checkbox"/> 肉體疲労増 <input type="checkbox"/> 子どもと離れることへの不安増 <input type="checkbox"/> 情緒不安定 <input type="checkbox"/> イライラしている <input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> その他具体的に：
震災後の助け合いの状況 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 同居家族以外からの支援はなく家族で頑張った <input type="checkbox"/> 同居家族以外からの支援はなく実家等に避難した <input type="checkbox"/> ご近所で助け合った <input type="checkbox"/> 友人と助け合った <input type="checkbox"/> 実家や親戚と助け合った <input type="checkbox"/> 民間の支援サービスを利用 <input type="checkbox"/> その他具体的に：
そのとき・その後 (~3月末) どんなことに困りましたか？ (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 子どもの遊び場がなかった <input type="checkbox"/> 子どもと自分だけで余震等の心配もあり心細かった <input type="checkbox"/> 子育て支援施設・保育所が休みで困った <input type="checkbox"/> 子どもの沐浴・入浴ができなかった <input type="checkbox"/> 夫が不在で家庭に人手がなく家事・生活に困った (コインランドリー、給水、仮設トイレ、買い物等) <input type="checkbox"/> 医療機関の状況がわからず奔走したり、不安だった <input type="checkbox"/> 特に無し <input type="checkbox"/> その他具体的に：
今後の災害時に備えて 行政に対応してもらいたい 支援・体制はどんなこと？ (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 子どものあそび場 <input type="checkbox"/> 子連れで遠慮なく集まれる場所 <input type="checkbox"/> 子どもの預かり <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 家事・生活を支援してくれる人手・ネットワーク <input type="checkbox"/> 保育園の開所 (または代替サービス) <input type="checkbox"/> こどもの入浴場所 <input type="checkbox"/> こどもの飲料水 <input type="checkbox"/> 特に無し <input type="checkbox"/> その他具体的に：
その他、 震災にまつわるエピソードや 感じたこと・ご意見など (自由回答)	